

平成23年度第4回中野市豊田地域審議会会議録

開催日時および会場 平成24年2月1日（水）午後3時～4時30分
中野市豊田支所2階大会議室

出席委員および欠席委員氏名

出席委員 ・佐藤秀彦・西野三恵子・外谷辰之・林紘一・高橋剛太朗・神田一枝
・西野薫・山口光左・藤澤幸男・吉岡一美・宮沢賢明・北山和夫
・清野竹子・小林日出夫・大内ふじ子

欠席委員 なし

出席職員等 ・市長・副市長・総務部長・子ども部長・くらしと文化部長・経済部長
・消防部長・議会事務局長・教育次長・会計管理者・豊田支所長
・福祉課長・道路河川課長・地域振興課長・地域振興課長補佐兼総務係長
・地域振興課長補佐兼振興係長・地域振興課市民生活係長

議題および議事の顛末

1 開 会 【豊田支所長】

2 会長あいさつ

○佐藤会長： どうも皆さんご苦労さまでございます。

市長さんはじめ副市長さん、そしてそれぞれの関係者の皆さん、今日の審議会のために、大変な雪の中をご出席いただきましてありがとうございます。

それぞれ前もってお願いしてありますことについて、それぞれ説明をただけるといふことでもありますので、委員の皆さんもこの内容をしっかりと協議いただいて、今後のこの地域の発展のために、忌憚のない意見をいただきますことをお願いいたしまして、あいさつに代えさせていただきます。大変今日のご苦労さまでございます。

3 市長あいさつ 【中野市長】

○豊田支所長： ありがとうございます。

ここで、新たに地域審議会委員になられました吉岡一美様に自己紹介をお願いしたいと存じます。吉岡様、よろしくお願いたします。

○委員： この度、保健補導員より、こちらにお世話になることになりました、吉岡一美と申します。よろしく願いいたします。

○豊田支所長： ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。
それでは、地域審議会の設置に関する協議書 第7条 第4項の規定によりまして、「会議の議長は、会長がこれに当たる」となっております。
佐藤会長さん議事進行のほうよろしく願いいたします。

4 会議事項

(1)「豊田地域の振興に関する意見書 回答」に対する進捗状況について

○議長： それでは、これから会議に入らせていただきますが、よろしく願いいたしたいかと思えます。

説明をいただく前に、委員の皆様にお願いがございます。

2点ほどございますが、1点目は限られた時間であるため、委員各位の発言は、できるだけ簡素にお願いいたします。

2点目は、会議録作成の関係上、発言される場合は、お名前の後に、発言されますようお願いしたいかと思えます。

それでは、早速協議事項に入らせていただきます。「豊田地域の振興に関する意見書 回答」に対する進捗状況についてを、議題といたします。

お手元の資料の「豊田地域の振興に関する意見書 回答」の、回答部分の進捗状況について、順次、関係の所管の部長より説明をお願いしたいかと思えます。

主に、昨年5月24日に開催しました、第1回中野市豊田地域審議会の際、示していただいた資料から変わった所について、ご説明をお願いいたします。

なお、第1の総論につきましては、日々の行政運営の中で対応していただいていると思えますので、「第2 地域資源の活用と産業振興策の推進」より説明していただきます。

それでは最初に、経済部長さんから説明していただきたいと思えます。

○経済部長： まず、(1)でございます。回答の方でございますが、農産物の地産地消を推進するため、野菜づくりモデル事業、これは平成23年から新しく取り組んでいる事業ですが、モデル事業に引き続き取り組みます。また、農産物等の生産者や加工・販売を行う業者における勉強会や研修会を開催し、農商工連携した事業を実施しております。という事でございます。

では(2)の方でございます。現在、豊田地域における農業者の高齢化対策、荒廃農地対策の一環として「中山間地域直接支払制度」が協定で13地区 それから受益面積で56.1ha 余りで活動されていますという事で、これについては若干数字が変動しました。

それから情報提供については、今後も積極的にさせていただきますという事でございます。

あとは、農地・水・環境という制度がありますが、これについても地区で取り組む場合には、こちらの方で説明会等に出向いて、十分ご理解いただけるように説明をしていきたいとそんなふうに思っております。それが主な変更点でございます。

それから新規就農者についてですが、いきなり農業というものもなかなか大変でございますので、普及センター等がやっております北信州農業道場の活用を十分にさせていただいて、自信を持って農業に取り組んでいただけるようにしております。

つづいて(3)の有害鳥獣ですが、これにつきましては、国の制度と市の制度がございまして、国は一応3戸以上という事でまとまった部分については国からの助成がありますが、それまで達しない場合には、市の単独事業を実施しております。

それから檻の関係ですが、23年度に、豊田地域と中野地域の駆除協議会が合併できましたので、これについては猟友会で設置するという事になっています。そんな事でございますので、いずれにしても、具体的な被害がないと設置はできませんので、被害があった場合には、地域振興課の方へご連絡をお願いしたいという事でございます。

以上でございます。

○議 長： ありがとうございます、それでは、経済部長から説明をいただきました3点について、皆さんの方からご意見だとか、ご質問がございましたら、お出しいただきたいと思っております。

はい、●●さんどうぞ。

○委 員： ●●区なのですが、(2)の中で、農地水環境保全向上対策事業ということで、ただいま当区も取り組んでおるところでございますので、説明会をお願いしたら来ていただけるのでしょうか。

○経済部長： また、日程調整させていただいて、いくらでもこちらの方で出向かせていただきます。

○委 員： ●●です。1番でお聞きしたいのですが、農産物等の生産者や加工販売、まあ色々あるのですが、先ほども話しに出た、この豊田地域は北信州みゆきの関係で、色んなものが販売されているような経緯があるのです。資材にいたしましても、農協の方から購入したり、また販売も農協でやるのですが、今回は豊田地域という関係から考えさせていただければ、中野市全体を見たこの状況でいかがなものかと思うんです。いかがでしょうか。

○経済部長： ここにある野菜づくりモデル事業等につきましては、豊田地域それからみゆき農協も入ってやらしていただいておりますので、JAさんとかエリアは関係なく取り組ませていただいております。

○委員： 分かりました。ありがとうございました。

○議長： 他に、ご意見ご質問のある方。はい、●●さん。

○委員： ●●です。

いま地域審議会では、意見交換会という事で、豊田地域に関しての色々な問題を掲げながら、いい地域になるようにというお話しをしている所なのですけれども、この地産地消のこの農産物を売るための売り場と言いますか、こんな事を道の駅を拠点に大々的に広げられればなあと、そうすれば数いっぱい出さなくても、ちょっとずつ出して、自分のうちの物の作物が売れたり、そういった事から農業者にも意欲が出たり、地域も潤ったりするのではないかという事で、そんな事を道の駅を拠点という事で、まあイメージとすればオランジェみみたいなイメージではないかなと思うのですけど、またご検討をいただきたいと思います。

○経済部長： お答え申し上げます。

道の駅の改修というか拡張につきましては、いま実施計画という市の計画の中で検討されております。

ただ、いま道の駅例えば広くしても、この冬場になると農産物が無くなってしまうということもありますので、今年度もし広げるとしても、今年度中に何を作るか、そして1年中どうやって農産物を供給するかという事も考えていかなければいけないと、そんなふうに考えております。

○議長： いいですか。

○委員： 今の冬場の事なのですけれども、やっぱり似たような地区の似たような所はどんな事をやっているかという事で、研究しながらやっていただきたいと思います。

○議長： ●●さんどうですか。

○委員： お願いします。●●です、お世話になっております。

(3)の事ですけれども、昨年、有害鳥獣駆除に対しての電気柵等を一部設置されたところがあるのですけれども、その後、例えば検証とか結果はどうなっているのか、もしも分かっていたら教えていただきたいという事と、

あと、3戸以上のまとめるのが困難というか、市の単独事業で助成を実施しているという事ですけど、金額等ですか、どれくらい助成を出しているのか、もし分かったら教えていただきたいという事と、最後になりますけれども、農作物の被害という事で、例えばこれ今育成中の木のもの例えばそういうものについても被害届に入るのかどうか、例えば取り残しそういうもの作物だけなのか、その辺の事もお聞きしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

○経済部長： あの電気柵ですが、豊田地域でも1カ所設置してありまして、それは一昨年設置したのですが、ぐるっと園地を囲うように設置したのですが、その後は被害が出ていないという事です。

それから、中野地域の東側をずっと全長で45キロくらい設置しました。それまでは、非常にイノシシそれからクマの被害があったのですが、設置以降は市のほうには報告がございません。

それから市単独事業での助成ですが、防鳥ネット等は上限がありますけれども、電気柵については上限がございませんで補助率は8割、補助をさせていただきます。

それから、被害の状況ですが、これはあくまでも有害鳥獣駆除という事なので、被害がないとそういう駆除の対象になりませんので、どんな状況であっても報告をお願いできればと思います。

○委員： ありがとうございます。

○議長： 他にありませんか。よろしければ、次に移っていいですか。
はい、では次に移らせていただいて、くらしと文化部長かな。

○くらしと文化部長： ご説明申し上げます。

最初にあの(1)ですが、1点目の千曲川兩岸の産廃処理事業者への指導について、でございますけれども、毎年連絡会を開催させていただいていますが、今年は2月27日(月)に開催する予定であります。

それから2点目になりますけれども、飯綱町における産廃処理施設について、でございますけれども、最近は動きがなかったのですが、昨年10月以降2つの会社から問い合わせ等がありましたこれは水面下での情報収集と思われます。まだ、その後の動きはありませんで、また必要に応じて情報提供をしてまいりたいと考えております。

それから第1回目の時にご質問がございました、●●●●にあります●●●●の件ですけれども、前回代表者と連絡が取れない旨ご説明を申し上げますけれども、その後連絡が取れまして、再三、塩ビ管等の野積みの廃プラですね、これを撤去するように指導してまいりましたけれども、そ

の後ですね、暮れあたりに看板が替わっておりましたので事情をお聞きしたところ、資金難等から地主であり、また同様な事業をしている●●●●という所に処理を引き継いだという事でございます。

●●●●さんにも状況をお聞きしたのですけれども、代表者の方かなりのご高齢で認知症も多少見られましてですね、なかなか進まない事から、現在県外に住む息子さんにも同席をいただきまして、2月の上旬に今後の具体的な処理計画について打ち合わせをする予定になっておりますので、申し添えておきたいと思っております。以上でございます。

○経済部長： (2) のトレッキングコースの整備の関係でございますが、このコースにつきましては、平成22年と平成23年度の緊急雇用対策創出事業という事で園内の歩道の整備を行いました。

23年度には、歩道の看板を一部設置させていただきまして、24年度には、歩道のマップそれから案内看板の整備をさせていただきたいと、こんなふうに考えています。

○議長： ありがとうございます。
この間での、ご意見ご質問ございましたら。はい、●●さん。

○委員： 先ほど、お話しがございました、●●の廃プラの処理でございますけれども、私も地元として非常に心配しておりまして、特に近所の果樹を作っている、リンゴを作っている生産者からは、そのように言われている訳ですけれども、たまたま●●さんへ変わったという流れでございますけれども、県の方とも、たまたま私もちょっとお話しをした中で、出来るだけ早く一つ対応というか、対処していただければ幸いなあと思っています。よろしく願いいたします。

○議長： はい。他に質問ないですか。ご意見、ご質問ありましたら。よろしいですか。
じゃ次に進めさせていただきます。「第4 魅力ある定住環境と社会資本の整備」について、説明をお願いします。

○道路河川課長： 説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

国道、県道などの主要幹線道路の早期しゅん工に向けてという事でございますが、これにつきまして、23年、昨年8月また11月にそれぞれ北信建設事務所、県の建設部の方に要望提言等を行ってございます。

また、関係の内容でございますが、国道117号バイパスにつきましては、支所の北側、舗装を今年度実施したと。また、用地交渉についても粘り強く進めていただいているという事でございます。

2番目の三水中野線でございますが、これにつきましては、安源寺地区において、現在設計案を示されて、地元との調整中でございます。

また、3番目の豊田中野線につきましては、現在、埋文調査を進めているものでございます。

4番の飯山妙高高原線でございますが、本年度については、親川区の手前の所で用地取得をしまして、工事について既に発注をされていると聞いてございます。

次に2番目、千曲川の無堤地区の関係について、でございます

これにつきましても、23年の7月また23年の11月に北陸地方整備局、国土交通省また千曲川河川事務所に提言要望等を行ってございます。

その中で、また県の建設部に対しましては、北信地区の同盟会といたしまして、8月に建設部と北信建設事務所の方に要望活動を行ってございます。

その中で、また事業の進捗事業について、でございますが、2番の替佐築堤につきましては、現在、川久保、市道の付け替えボックスが完成しまして、JRの橋の架け替えの方に着手をしている状況でございます

また、笠倉につきましては、現在、堤防の方を順次進めていただいております。

また、立ヶ花狭窄区間の河道掘削という事で、上今井地区の河道掘削を実施しております。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○総務部長： よろしく願いいたします。

それでは、3について説明させていただきます。

3の豊田地域で若者の定住それから人口維持について、でございますが、平成19年度から県が主催しまして県下37市町村が加盟する「楽園信州」推進協議会に加入しまして、移住それから観光、農業の交流促進に努めております。

ここに記載されています事業の他に、24年度では予算を増額しまして、首都圏へワンストップの拠点を設置しまして、長野県全体の魅力を発信していくということにしております。その東京観光情報センターであります。そこへ専門員を配置し毎日の相談対応や情報発信をしていくこととしております。

市としても、県と連携しまして取り組んでいきたいと考えております。次に4のJR替佐駅の件ですが、平成20年度に中野市地域公共交通総合連携計画を策定しまして、公共交通の利用の促進、利便性の維持向上に努めてきたところでございます。

駐車場の整備でございますが、替佐駅周辺には既に民間会社と替佐区が所有します駐車場がございまして、新たな駐車場整備は考えていないところでございます。

それから、JR上今井駅につきましては、公共交通への利用促進としまして、自宅から駅まで自動車を利用し、鉄道に乗り継ぐというシステム「パークアンドレール」として、駐車場を整備したものでございます。以上です。

○道路河川課長： 続けて5番、お願いいたします。

土浮地籍の排水路について、総合的な排水対策を検討されたいという事でございます。

これにつきましては、23年度で替佐駅の周辺の水路について改修を1カ所行ってございます。以上でございます。

○議長： 以上この件について、皆さんからご質問、ご意見ありましたら、お出しをいただきたいと思えます。

はい、●●さん。

○委員： ●●の●●です。

(1)の関係でお願いしたいのですが、この中に一般国道117 静間バイパスうんぬんとありますが、一般県道牟礼～永江線の関係であります、この下に色々と説明書き書いてある中に、ちょっと見当たらないので、そのへんどうなっているかどうかお伺いしたいかと思えます。

○道路河川課長： 牟礼～永江線につきましては、地権者と県が調整中ということでございますので、よろしく申し上げます。

○委員： この路線も、かなり前から問題になっておるような話しも聞いております。関係者の皆様も大変苦勞されておるとい話しも聞いておるところでございますが、いずれにいたしましても、この路線はもう十数年ぐらいが、年月が経っておるような気もいたします。どうか一つまあそういう事も加味した中から大変とは思いますが、一年も早い竣工をお願いしたいかと思えます。ありがとうございます。

○議長： 他に、はい。

○委員： ●●の●●ですが、いつもお世話さまでございます。

あの(5)ですが、ここの所理解を得た中で、年々少しずつですが、改良を図っていただいております。本当にありがとうございます。

また引き続き、JRの東側部分についての暗渠等の改良、せぎ等の改良の願いをぜひした中で、進めていっていただきたいと思っておりますので、ぜひ1年でも早く完成をお願いしたいかと思えます。それが一点です。

それと、(4)のJRの替佐駅周辺整備それから含めて駐車場について、でございますが、踏切の統合廃止等の意見がございまして、色々とお骨折りいただいておりますが、いかんせん民間住宅がございまして、なかなかこう思うように任せないところでございますが、永田地区等も抱えております替佐でございまして、あの金がかかる駐車場整備とかにおいては考えておりません、という事でございますが、上今井もあれだけあの広げていただいた中で、なおかつ駐車場も満杯というような状態になっておりますが、替佐も止められさえすれば永田地区の皆さんや他の皆さんも駐車場を利用した中で停めると思うのですが、鉄道運賃との絡みがあるのだかもしれませんが、今あるあそこの、かつての貨車の積み込み場所とかあったあの部分も、鉄道の用地かと思っておりますが、だいぶ遊んでいる部分もあるかのように見受けられるので、あの辺を利用した中で、もう少し駐車スペースが出来ればという事で、大変な大きな財政負担にならない中で、可能と思うので、そこらへんの研究をなされた中でお願いしたいかと思うんですが、よろしく願いいたします。

○総務部長： 替佐駅の駐車場の整備の件でございますが、ここにも記載してありますとおり、昨年の暮れであります、替佐駅の方へJRの方へですね、無償での貸し付けとか申し入れをしたわけではあります、有償でなければできないという回答でございまして、そこで、市の方で借りるかということで、まずは市の方で負担するという事で、非常に財政負担が伴うという事で、市としても大変、無償であればよかったです、財政負担が伴うという事で、現在どうしたら良いかという事で、地元とも相談させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○道路河川課長： よろしいですか。

水路の改修につきましては、また区の役員さんに意見を聞きながら、できる限り進めていきたいと考えていますのでよろしく願いいたします。

○委員： 地域住民の皆さんは完成を待っておるもので、ぜひ進めていただきたいと思うのですがよろしく願いいたします。

○議長： よろしいですか、他には。 はい、●●さんどうぞ。

○委員： ●●の●●です。よろしく願いいたします。

(2)の中の、千曲川の無堤地区という事でございますけども、上今井もご存じのように特にあの住宅の方への浸水があるという事で、上今井の橋より西側、ご存じのとおり三水中野線がありますけど、あそこの二つあったところ、一つカルバートを一つ閉鎖していただいて、もう一つの所から16年、18年と、かなりあそこから水が入りまして、住宅に入ったとい

うような経過がある訳でございます。その前におきましても（昭和）37、38（年）かな、そういう時に入った訳でありますので、非常に安心し安全のいう中で、一つ上今井の橋より下流の西側ですね、住宅に入らないようにというので、この前もお話し申しあげましたけども、もちろん促進期成同盟会で千曲川河川事務所の方へお願いして、ご努力いただいているという事でありまして、農地の事も、もちろんでございますけど、まず住宅に入らないというような事をお願いをしていただきたいと思います。

それから、もう一点は、立ヶ花の狭窄区間の掘削という事で（4）、2番の中の4番ですね、ありますけども、これにつきましても、今年というか去年大型ダンプカーというか、数十台通っております。非常に我々農地行くのにちょっと危険を感じるというような事でございます。作業用道路という事でお話しをしているところでもありますけれども、作業用道路また一日も早くという事をお願いしているところなのですけれども、そのへんの進捗状況もどんな具合かお聞きしたいと思います。

○道路河川課長： 最初のあの県道の関係のボックス部分につきましては、地元の役員さん通じて前々から聞いてございます。これについては県の関係もございまして、またその中で重ねて県の方へお願いしてまいりたいと考えております。

2つ目の今の上今井地籍の河道掘削の関係の仮設の通路という事につきましては、千曲川河川事務所の方とまた地元区の役員さん、区の皆様方と協議させていただいて調整するという事でございますのでよろしく願いいたします。

○委員： お願いいたします。それにつきましても、作業用道路に関しましては危険が感じますので1日も早くお願いしたいと考えています。よろしくお願い致します。

○議長： 次に進めさせていただきます。それでは、「第5 教育・福祉の地域づくり」について、まずは、福祉課長から説明をお願いします。

○福祉課長： 健康福祉部長、所用で出席できませんので、替わって説明させていただきます。

若者の結婚問題という事でございます。

ここにありまして、昨年度4月から12月までで実施したものでございますけれども、結婚相談につきましては、8件ございました。そのうち豊田地域からは2件の申し込みがあって、ご相談を受けております。

それからイベントの関係ですけど、サマーアウトドアパーティーという事で、8月の6日の日に、斑尾のキャンプ場で行いました。参加者16名で

豊田地域からは1名の出席がございました。

クリスマスパーティーという事で、12月18日にアップルシティーなかので行いまして、34名の参加をいただき、そのうち豊田地域からは3名という事でございます。

それぞれ、若者の皆さんの出会いの場作りという事で、参加しやすいようなイベントをこれからも考えて実施していくようにしたいと思います。

以上であります。

○教育次長： (2)ですけれども、再編につきまして、教育委員会では、平成22年度に引き続き23年度も市内4カ所で市民教育懇話会を開催しました。特に豊田地域につきましては、10月27日(木)、32名の方に参加をいただき開催したところでございます。

再編につきましては、現在、教育委員会で検討中でございますのでよろしくお願いたします。以上です。

○議長： ありがとうございます。

この間について、皆さんの方からご意見、ご質問ございましたら、お出しいただきたいと思っております。はい、●●さん。

○委員： お願いします。●●●●です。

(1)ですけれども、こういう催しをよく企画していただきありがとうございます。その中で、結婚された方というのですか、そういう方がいらっしゃると思うのですけれども、そういう方の良かった、企画が良かった、もっと工夫したら良かったというような事が、もしも意見で出ると思うのですけど、先ほど課長さんの方から、これからも考えて、イベントの工夫を考えているとおっしゃったんですけども、そういう方の意見を参考にされて行っていかれたらどうでしょうか。という私の考えです。よろしくお願いたします。

○福祉課長： 分かりました。実施主体となっております社会福祉協議会の方によく申し伝えて、人が集まるようなイベントを考えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○委員： あと、是非たくさんの方が参加できるような日程等が、計画を今後も工夫して、企画運営にあたっていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○議長： よろしいですか。他にございますか。 はい、●●さん。

○委員： ●●です。

(2)の小、中学校の再編という事でございますけれども、私も教育懇談会に出席させていただきまして、この中で、いま教育委員会で検討中とあるのですけれども、学校の事は確かに教育委員会で色々考えていただけることなのですけれども、学校っていうのは、まあ地域の拠点という考え方で、色んな方面、例えば、経済効果の観点、色んな観点から、学校を考えていっていただきたいと思います。単純に、教育だから教育委員会だけってことじゃなくて、色んな分野から検討をお願いしたいと思います。

○教育次長： 検討中と申しあげましたけれども、案がまとまりましたら、それぞれ皆さんにご報告して、またご意見をいただく事としておりますので、よろしくお願ひいたします。

○議長： ●●さんいいでしょうか。他にございますか。はい、●●さん。

○委員： ●●の●●です。

(2)の関係で、ただ今の●●さんにちょっと繋ぐような話しになるかと思いますが、いずれにいたしましても、永田小学校の数は1クラスで9人とか、10人に満たないような数字の人数というようなクラスがあります。

まあそういった中から、6年になって中学になる時に、よその学校に行ってしまう子がここ数年、分かってきたのだから、知れてきたのだから、そういうような感じがいたします。まあ、お互いに好きな所へ行って勉強することはいい事だし、そういう事になっているのだから、どうこうないのですが、少ない地域で、また、よその学校に行ってしまうとになると、非常に豊田中学校の子ども達全体が少なくなってしまうような気もするわけです。

しかし、それはいたしかたないといたしましても、ただ今あの編成中という事で検討されておるとい事で、なるべく早い時期に合併というのですか、統廃合というのですか、そういう事で、大勢の子ども達が一つの教室で賑わうような体制を作ってくださいまして、こういうのは希望でございますので、よろしくお願ひいたします。

○議長： はい、他に、ご意見ご質問は。

よろしいですか。それではこれで「豊田地域の振興に関する意見書 回答」の進捗状況について説明および質疑を終わらせていただきまして、次のその他、に移りたいと思います。

市長さんの方から雪害対策について、お話しがあります。

(2) その他

- 市 長： 話しではなくて、ちょうど目の前(情報センター屋根の積雪深を指して)がああいう状態になっているので、豊田地域では、これからどんな問題が起こるのかとか、それをちょうどいい機会なので聞きたいなあと、そういう事です。
- 議 長： それでは、皆さんの方から雪害に対して皆さんの方から。
じゃ●●さん。
- 委 員： 誠にありがたい市長さんのお言葉で、さっきから早く言おう言おうと思っていたところです。よろしくお願いいたしたいと思います。
実は永田の方は、この豊井よりまた一段と多いという気がしている場所でございます。失礼ですが、上今井と替佐は半分と、いうようなふうにも思えてくるのですが、それはそれなりきの雪の大変さがあると思います。
ちなみに親川、涌井に行きますれば、想像を絶するような量になってきております。たまたま、新聞にも出ておりましたとおり、平成18年以来の豪雪とかいうように言われていると同時に、いま北永江の方でも除雪した雪が当然に山になっております、その山になっている雪を排雪する場所がないというのが現状でございます、除雪される方々が、除雪して塊りにしておいたやつをまた自分でそれを排雪する、その排雪する時間と場所と非常に苦慮されておるように見受けれるし、そう感じて、直接感じております。
そのへん、市役所、豊田支所へお願いして、早急には対処していただいておりますところなのですが、これからは、まだ今日も降る、明日も降るといような状況の中から、何て言いますか、ダンプをもっと導入していただいたり、そのへんの排雪の雪の処理を早急に対処できるような事をお願いしたいとこのように思うのですが、そのへんどんなものでしょうか。
- 道路河川課長： 排雪については、大分あのいま除雪路線も含めて除雪路線になっていない生活路線についても大分限界にきている認識をしております。今後、また市の内部でも検討して、当然、それぞれ支所の方に、私共道路河川課にも区長さんを通じて、排雪というお願いがきます。その時に1番困るのが、排雪を持っていく場所というのがこれが、なかなかございません。
と申しますのは、いま排雪でやっているところが、旧中野市の方では夜間瀬橋の下流、そして越橋の下流という2カ所で今やってございますけども、そこも大分雪が入ってきているという中で、まあこの排雪場所について、できれば区長さんの方で、この場所に押し込んでもらいたいという所があれば、またそんな事を含めて、支所の方なりご依頼していただければと思うのですが、そのへんだけよろしくお願ひしたいのですが。

○委員： ありがとうございます。今は除雪より排雪の方が困っているというような状況になるかと思うのです。そんな関係上、また排雪の場所を探して業者さんなり、豊田支所の方の関係者の方にお問い合わせたいと思います。よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

○市長： あの昨日、梨久保まで行ってきたのだけど、豊田の方はとっても除雪が上手だね、道幅きちんととって除雪して、中野の街の中ならこうなって（車がガタガタして）下手な除雪をして、えらい怒ったんだけど、豊田へ来たら、きちんとやってあるんだけど、山のように積んであって、みんなそれぞれ一生懸命こう排雪しているんだけど、聞いたら確かに排雪の場所がない。

（川）向こうの旧中野市の方はそうやって（場所を）作ってあって、なんでこっちはないのか、俺はそれが1番不思議だった、これだけ雪が降るのに、どうして今までなかったのか、ちょっと分からないのだけど、まあこれだけ広い千曲川があるのだから、場所はいくらでもあると思うのだけど、それは早急に検討したいと、そんな事を思っている。

○豊田支所長： 追加で支所の方で、ですが、いま個人の土地に3カ所ほどお願いしまして、排雪させていただきたいという事で、了解をいただいておりますので、そちらの方にまずは持ち込むような恰好にしておりますので、よろしくお願ひします

○地域振興課長： 具体的な場所ですけれども、一つの場所は、永田小学校の隣にあります南沖団地を通る県道の下側の私有地が1カ所でございます。

あと三俣集落の中にあります、市道三俣替佐停線から若干飯山寄りに行った方に1カ所、それともう1カ所は、昨日実はあの地権者の方がお越しになって、こんな状況なので是非使っていただきたいという事で、場所を具体的に言いますと、親川へ上がります北永江の所ですが、T字路の所の反対側の土地の地主さんですが、ここまで来ていただきまして、使っていただきたいという事で、大変ありがたいお話し頂戴したわけで、今の所一応3カ所を予定しております。

また、今後の雪の状況によりましては、もう何カ所か考えていかなければいけないという事は思っておりますので、以後よろしくお願ひしたいと思ひます。

○市長： いま個人的って言っていたけど、誰でも運んでもいいの個人のところ。

○地域振興課長： 今は、一応ある程度道路のものを主として。

○市 長： だから、雪捨て場なのだから、公共の雪捨て場なのだから、誰でも持っていけるようなところじゃなきゃだめなのだよ。

○地域振興課長： 道路のものが主としていますが、個人のもの結構ですので、よろしくお願ひします。

○議 長： はい、●●さんどうぞ。

○委 員： 今の排雪の事なのだけども、上今井におきましてもね、昔の千曲川、新田のところね、土を今ちょっと、あそこの所いま空いているという事でね、上今井の新田の所をご利用していただいてもいいように土地改良区の人達とお話しを申しあげまして、ご理解を得ている所でございますので、一つ誰でも行って捨てていただきたいと。一つ小さなブルドーザを1台置いておきますので、利用いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○議 長： 他に、では●●さん。

○委 員： ●●ですが、排雪の場所の事でちょっと聞きたいのですが、これ千曲川とか斑尾川とかああいいう1級河川については、市の方で建設省の方へ許可願ひを出しても、雪捨て場に利用させてもらえるような状況にはならないのですか。

○道路河川課長： 先日の、その川の方という話しがございまして、まあたまたまこれについては、県の夜間瀬川でございました。それについては、県の建設事務所の方では、一時使用という事で地元区の皆さんが入れるという事で、書類を市の方から上げてくれればいいう事でいただいておりますんで、千曲川河川事務所の方については、ちょっとこれまた問い合わせせてみて、入れさせていただきたいという、まあ場所についてもちょっと相談してみたいと思いますが。

これについても、倭地区というところがございまして、そこはたまたまいま堤防をやっている所なのですが、その所に既に国が買い上げてある土地があるので、そこならいいという事なのですが、雪で埋まっています、どこまでが道かというのはちょっとよく分からないものですから、そのへんもあるものですからね、ちょっと千曲川の中でどこらがあるかというちょっと確認したり、またいま●●区長さんの方からもありましたけれど、上今井の橋の所というところもありますので、このへんもちょっと至急問い合わせせてみて、確認してみたいと思いますのでよろしくお願ひします。

○委員： いま市長さん、おっしゃられるように斑尾川、千曲川ね、こうしてそばにあって雪の排雪場所ないなんて、とてもおかしい話なのだけでも、別に川を塞ぐ程の雪捨てる訳じゃねーからさ、堤防の上からだったら、ダンブで開けて、順に開けていけばさ、重機もいらなくて、堤防の法のちょっと下ぐらいまでで収まるんだと思ってるんだけど、それも堤防痛んでいけねーから許可にならねーって、言われればどうしようもねーだか知らねーけど、是非あのお願いしていただいて捨てられるようにしていただければと思います。

替佐というか豊津全体の事をあのお願いしますが、奥手山とかあの辺まで行くと、永田の方に引けを取らない本当に大変な豪雪地帯で、メイン道路については市長さんおっしゃるようにとっても良く除雪出来ていまして広いのですが、ひとたび市道の集落に入りますと、やっと軽トラ1台通れる状態になっておりまして、奥手山は昨日から、何か皆さんの道路河川課の努力で、持出というか何て言うんか、道路の削りとか何とか、これで何とか奥手山の方は片付きそうなんですけど、あとこっちにきて、伊予岡団地なんかあの辺は、西日が全然差さなくて、集落の中が大変な状態になっていて、毎日毎日あの色んな苦情の電話も来るのだけれども、何とかここで、そうやって豪雪の対策本部設置されるという事で、私も大変喜んでいますが、役場の末端職員の皆さんも、うちの方の職員も真剣になって取り組んでいるんだけど、なかなか今の排雪場所といい、末端の若い衆、職員本当に真剣に取り組んでも困る事ばかりいっぱいあるもので、若い衆の働き易いような対策を、市長さん何とかやってやっていただきたと思います。

職員あの真剣に相談に応じてくれているので、こうやってやればいい、あーやってやればいいっていろいろ私もアドバイスをいただいておりますが、この対策会議されるという事で雪害対策十分に考えていただきたいと思います。

それともう1点、あと道路じゃなくて屋根の雪なのですが、あの区といったしましても常会のそれぞれの役員の中で、それぞれの常会の中で老人の1人暮らしとか、雪の下ろせない家庭あるものですから、去年あの災害時の救援マップ作りとか色んなものを替佐区の場合は豊津区全体でそういう事に取り組んで、1人暮らし老人とか福祉台帳とかも全部出来ましたので、そういう声を聞けるような体制が出来ておりまして、その中で助け合いをしてやっていく体制出来ておるものですから、何とか雪下ろしもその中で、この間の会議の中で、話ししておるわけなのだけでも、いよいよ困ったことについては、市に相談し持ち込むようになると思います。そこらへんの対策も併せて、道路だけじゃなくてどうかお願いしたいと思います。

○市長： その話しは十分聞いています。

- 委員： 今の関連なのですけども、あの雪の捨て場なのですけども、同じ雪を捨てるにしても適地というのがあるのですよ。平らな所に捨てた場合はブルで押して、次の車ももう入らないですよ。やっぱしあれは、法面、堤防、路肩で、まず雪で捨てて、崩れて、倒壊に、倒壊というか言葉悪いかもしませんが、倒壊につながることはまずないと思います。
- ただ、問題なのは、多少なりともゴミが入るかもしれない、そのゴミを区なり市役所で最後面倒見るよという事であれば、捨ててまずいという事はないと思うのですよ。堤防なら重機はいらないと言いましたけれども、まあ重機1台ぐらいは置いておいていただいて、上から平らに平らにいけば常に入れるんですよね。ある程度天気あってゆるんだらもう車動かせません。だから適地という事を考えて捨て場を考えていただきたいと、そういうふうに思います。以上です。
- 委員： 大体18年の時もそうだし、その前の59年なんせいう時はめちゃくちゃ雪が降ったのだけど、あの時だって結構初めこんな状態で苦情であったりするのだけど、行政でしっかり取り組んでいただいた中で、結構乗り切ってきたけんな。
- 議長： はい。どうぞ。
- 委員： ●●です。いま排雪場所という事で何カ所か言われたのですけれども、地区の人達にこう広報的な事で、ここは捨て場所ですよ、という事を教えていただけるように何かを通じてしていただければ、困らなくて何とか軽トラでも何でもそこへ行って、捨てて来られるということができるとは思いますが、ここらへんをお願いしたいと思います。
- 議長： 要望だけでいいですか。
- 委員： いいです。
- 議長： 他にありますか。
- 福祉課長： すみません、先ほど話しがあった福祉課ですけども、屋根の雪下ろしの関係ですけども、これにつきましては、民生委員さんにご協力いただきまして、補助制度を運用しております。概ね屋根の雪70センチ以上の雪下ろしが対象なのですけれど、所得が低い方という条件を付けてございますので、それぞれ心配だった場合はとりあえず民生委員さんに相談していただきたいというのが一つ。あと、今までこの制度を使った方には、それぞれ個別に通知も差し上げてございますので、その方については、たぶん民生委員さんとも相談されていると思います。

まあ70センチという規定がありますけども、これも概ねという言葉をつけておりますので、65センチだとか70センチだとかそういう事は申し上げませんので、民生委員さんのそれぞれの確認を経たものは、こちらで受付をするというふうにしておりますのでよろしくお願いいたします。

○議 長： はい、●●さんどうぞ。

○委 員： いま屋根の雪下ろしの話しただけども、あの民生委員にお願いするという話でございます。民生委員さんにはそれぞれご努力をしていらっしゃる場所だと思います。それで、老人の1人暮らしについては、屋根の雪は、屋根の雪は行政でやりますよ。ただし、けいだしとかね、玄関まで行くやつは、それは別ですよ、とそういう考えでやっているというお話でございます。

ただその中で、車椅子の場合はそれは対象にしますよ、とこういう事だそうらしいんだけども、それならですが、できればさ、老人の1人暮らしの人達にも、なかなか玄関の所まで雪かきをするのも大変な人が大勢いる訳だ。そのへんも含めてちょっとお願いします。

○福祉課長： 今年も問い合わせもありましたので、中でいま検討しておりますけど、これも市単独の事業でございますから、屋根の雪下ろしをした後のその排雪といいますか、それも一連の作業であれば特にその面倒は言わないつもりでいます。ただ、その雪下ろしじゃなくて、中の除雪だと困るんですけど、今言われたさっき言った、所得の関係、該当者であったりして、雪下ろしをしたその場所も排雪するという所は、弾力的に判断していきたいと思っております。

○委 員： そういう決まりになっているそうなのだけれども、やっぱり玄関というか、俗に言うけいだしが除雪できないという、1人暮らしの老人もおられますんで、その辺も一つ考慮していただきたいとこんなふうに思います。よろしくお願いいたします。

○議 長： ●●さん、どうぞ。

○委 員： 今の関連で実態をちょっと、ご承知おきをいただきたいと思うのですが、私あの●●の●●です。いま●●●●を仰せつかっています。それで、穴田は年1回除雪します、屋根のね、ですから1人暮らしの人は長男、例えば長野とか中野に居れば、1週間に1回必ず来てやってくれています。それから、身内が居ない人は必ず冬になる前から頼んでいます。

ところがですね、今年もう2回目なのですよ。で1回目来て、1回目つ

いこの2、3日前なのですが、とにかく危ないから明日長男が来るのだけど、とにかく来てくれ、頼んでくれって言われたのですね。いま頼まれている人は、もうほとんど毎日のように出ていて、ほとんど断っているのですよ、もう歳が歳だから。俺も見に行ったのですが、とにかく1日だけ、明日待ってくれば、明日長男が来るからと言う事で、1件だけそういう事がありました。

そういうの1件だけでいいんですけど、いっぱいあると区長に言っているのか、とにかく1人では対応できないんですね、それでなんか連絡していただければ、すぐ飛んでくるというような事があれば非常にありがたいかなあと。要望だけしておきます。実態をお話しして要望だけしておきます。以上です。

○福祉課長： ●●さん、よくご存じでしょうけど身内に除雪をする人が居ない場合は補助金の対象になるのですが、その場合出来たらと言いますか、業者的にはシルバー人材センターと、あと建設業協会の方から雪下ろし事業への協力の申し出があった事業者名簿を付けてお受けしてあります。

ただ実態的にこれだけ降っているのに、何処へ電話しても受けてもらえないという話しも聞いているのですが、この市単事業は、ちょっと今年の雪になりますから、危険を伴いますので、あまり誰でもいいという訳にはいかないと思うのですが、ある程度出来る方で、お手伝いできる方だったらさっき言った補助の対象になってきます。業者じゃなくても。そんな事なので、まあこちらとすれば、そういう助成制度を用意していますが、それでもこれだけなると、今言った人が居ないってことができますので、通常の災害になりますので、災害時の、要は日ごろから・・・

○市長： そうじゃなくて、緊急時にどこへ電話したらいいかと、それはね、支所か役所の庶務課の方に連絡してくれば、何とか対応すると、そうでなければ行政の意味がない。

○委員： とにかく頼むところがないって言うのですよ。だから今とにかく来てくれと、すぐ飛んでいったのだけど。

まあ、明日長男来るから1日ぐらいは持ちそうだから我慢してくれという話しをしてきました。

何件も来ると、すぐに頼まなければいけない。窓口的なものをね、是非お願いします。

○議長： 他にありますか。

これから会議をされるそうなので、要望をできるだけ出してもらった方が、会議をしやすくなると思うので。はい、●●さんどうぞ。

○委員： ●●の●●と申します。こう毎日降って、朝起きれば（雪を）漕いでい
かなくちゃ作業場に行けないっていうのが3日続きました、先週。

で、下ろしても下ろしても、今年は3回雪下ろしをしたんですけど、ま
だ今日降ればまた雪下ろしになります。うちは、下ろす人が居るからいい
んですけども、梨久保行けば1人暮らしの方が結構居らっしゃるので、そ
れで民生委員が、梨久保と涌井で1人なんですよね。で民生委員の方が大
変苦勞なさっていると思うんですけども、えっとその方の連絡など密に民
生委員さんと取っていただきたいのですが。

もし、手が回らないようでしたら、役所の方で行ってくださるとか、そ
ういうのを民生委員さんにちょっと声かけしていただければありがたい
なあとと思います。

涌井の●●●●さんがいま民生委員やっています。ちょっとあの人が忙し
い人なので、両方ってすごく大変らしいので、是非お願いします。

それとあの、雪消えの時なんですけど、ここで予算をいっぱい使うと、
わりと早く重機が上げられちゃうんですけども、3年程前重機無くなって
から、ドカーッと雪が降った事があるんですけども、あの様子を見ながら
なるべく遅くまで置いておいていただきたいのですが。よろしく願いま
す。

○地域振興課長： 今の民生委員さんのお話し出ましたけど、うちの市民生活係の方でも豊
田地域の民生委員さんと、常に毎日連絡を取りあっていて情報交換さ
せていただいて、またこちらで、ご助言できるところは、ご助言させてい
ただいていますのでよろしく願いいたします。

重機の関係につきましては、おそらく今年の3月31日まで業者との委
託契約という かたちになっていると思うんですけども、そのへんもここ
に道路河川課長もいらっしゃいますので、雪の降る状況によりましてその
へんまた内部と検討させていただこうと思っていますので、よろしく願
いいたします。

○議長： いいですか、●●さん。では他に、よろしいですか、こんなところで。

それでは、市の雪害対策については、これで皆さんからのご意見は終わ
らせていただいて、これから会議をするそうですので、是非その中から反
映させていただければと思います。よろしく願いいたします。

それでは、その他で、一応こちらから提案するものはないので、その他
で皆さんの方から、何かございましたら、この際ですからお出してください。
はい、●●さん。

○委員： ●●です。何点かあるのですけれども、ちょっとお願いしたいと思いま
す。

3年ほど前の地域審議会の2月の地域審議会ですかね、地域審議会長からちょっと、提案を申し上げて、117が今度支所の前を通るという中で、支所に向けての要するに交差点を支所の方へ延ばしていただいて、豊田支所の入り口はそちらにしてくださいという、一応提案をさせていただいたら、この間の地域審議会の意見交換会の後に、地域振興課の方から説明で、その話しはとりあえず駄目になりましたよみたいな話しがあったんですけども、今の保健センターの前で出ようと思うと、電柱があって、そこに箱があって、それでも出づらくて、で、それで道がうんねりと非常に出づらいと、で向こうも向こうで、カーブになってきて、非常に信号と信号の間という事で非常に出たりする、そういった事が非常に大変になるんじゃないかなと、交通量もきつとかなり、江部交差点が混むという事で、例えば飯山から来られる方がこっちの道を通るとかっていうような交通の量が増えるんじゃないかなと、色んな事を考えますれば、できればそんなかたちに交差点として、支所に入っただければなあと、そんな事を改めてちょっとお願いしたいかなあと考えてます。

それと、先に言うだけお願いしたいのですが、あとあの5月の24日に経済部の部長さんが、今年はおみじ荘、まだらおの湯の方へバイオマスのエネルギーでボイラーを沸かすというようなお話しをされたのですが、その後どうなったかお聞かせを願いたいのと、あとは、ここにJA北信州みゆきの理事さんいらるんですけども、一つの市に二つの農協があると、ただ単純に二つじゃなくて、他の市町村も含めてまた、農協があるという事で非常にあのいろんな活動の中で、確かに市の方も一生懸命やってくれていていいんですけども、豊田地区、地域の状況を何とか、統合なるのだから、統廃合になるのだから知らないのだけれども、そういったかたちのお話しっていうのをされる事はあるのだから、という事1点です。

それと、いま市庁舎の話しをいろいろされていて、いろんな報道がされている中で、中々なのですけども、ちょっと一つ提案したいと言いますか、中野高校跡地を一つの庁舎の移転候補として説明までありました。あそこに保育園を建てられ、その先防災公園ですか、そんな計画もあります、あるような事をお聞きしまして、例えば、中野高校跡地に庁舎を建てると、それはいいんですけども、例えば何年か経ってお金が出来てきて、市民会館を移設する、その時点で、中野高校跡地が残っているのか、そういった全体的にあの、なからどこはどんな風に動かすのだから、よく検討をされないと、庁舎建ったきり、次の例えば市民会館を例えば建てるとしたら、土地が足りないとそういう事にならないようお願いしたいかなと、こんなところなんです。

○市長： 去年出した利活用案にはちゃんと書いてありますよ。

庁舎は向こうに中野高校に、市民会館は現地で、今の所予定は改修して

公園にすると。それはきちんと書いてある。それ読んでください。

それと、26年度に笠倉大橋が出来て、それでまあ交通量が増えると、それでこの前をどうするかという問題なのだけど、今のところ飯山のインターチェンジからの道が、さっきの永江の話と同じで、なかなか豊田の人が判子を押してくれない、それで今困っている。だからそれをきちんとやった後でないと、なかなかこの部分にも手が付けられない。

○経済部長： お話しがありました、もみじ荘、まだらおの湯のバイオマスボイラーですが、なかなかペレットを使ったボイラーというのが難しいらしいのですが、2月10日に入札があります。1回やったのですがちょっと上手くいなくて、もう1回入札というかたちになりましたので、ちょっと時間が遅れていますが、今年度中には設置が完了いたします。

もう一つJAの関係ですが、このJAの統廃合は非常に難しいものがあるそうです。まあ行政としては、JAの統廃合については直接口を出せない訳であります、24年度事業で「信州中野」というブランド作ろうという事で、いま予算の中で取り組みを始めています。

「信州中野」は、みゆきの方も中野市産の農産物であれば使えるというかたちで、「信州中野」を全面に売り出した、前に出したそういうそのロゴというかですね、そういうシールとかそういうものを作って、豊田の方にもそれを使ってもらえれば、農産物の販売で中野市という名前を、いいと言う方については、そういう事で一応解決できかなあと、そんなふうを考えています。

○市長： JAの統合の話ですけど、それは俺もみゆきに行って、じゃしゃべろうかと、みゆきの方へ行くって言ったら勘弁してくれと、来ないでくれと言われた。だからその、豊田関係はやっぱりJA中野市に入ってほしいし、同じ様にやってほしいのだけど、今非常に不便ですね、道の駅なんかは、JA中野市のものが売れない、入れない、同じ中野市にあってなんでそこで売れないのか。だから本当は、豊田のJAみゆきの部分はJA中野市に入ってほしいのは、それはもうみんな願い。

○委員： あの市長さんさっき言われた笠倉壁田橋が出来て、ここの交通量が増えるのもそうかもしれないですけども、元来どうしても長野へ飯山から向かうとなれば、江部交差点というのが非常にあの交通の要所と言っていいかな、とにかく混む信号と言いますか、交差点なので、恐らく、こちらの道が出来れば、交通量が大分こっちへ移ってくるんじゃないかなあと私は想像するんですけど、これきっと県の方か、市の方でも交通量の変化みたいなもののデータがあるのかなあとは思いますが、まあ増えた中でね、この117号の沿線上も歩道あるんですけども、この冬季間歩道が使い

ないような除雪体制になっていますし、そこらへんも色んな事をこうひっくるめながら、交通量が増えるという事を想定しながらの対応をお願いしたいかなと思います。交通量増えて、道を通る道路を歩かなければならないというのがいま現実なのです。だからきっと今日も何度か除雪という話もありますし、要するに交通量が増えた時に何か事故があっても困りますし、そういった事はその交差点を含めまして、交通量を増える対策というのを事前にお願ひできればなあとお願ひします。ありがとうございます。

○議 長： いいですか、他に。

○委 員： お願ひします。先ほどの資料の4ページの(2)の斑尾山麓の事なのですけれども、現在、保養センターがある訳ですけれども、あそこの今後の活用というか何かお考えなのか、それと、キャンプ場の整備ですけど、えっとそのへんも考えてトレッキングというか整備等の中に、ぜひいっこうをお願ひしたいと思ひますけどよろしくお願ひいたします。

○市 長： この前議会でも話しをしたのですが、トレッキングコースとしてね、例えば、まだらおの湯からずっと梨久保の方までコースを作ったり、それから、もみじ荘まで下りてくるコースを作ったり、豊田は自然が豊だから、そういう自然探索コースが必要なんじゃないかな。豊田城跡にも下りたりだとか。それはもう十分考えています。

それで、いま中野市と飯綱町と妙高市と飯山市とどういふふうに関係あるか知っています。信濃町とは、斑尾の頂上から150メートル下りたところで、そこから150メートルだけ信濃町と接しているだけなのです。あとは全部飯綱町です。それでその右側は、みんな飯山市、それで信越トレイルが斑尾の頂上までいっているものだから、そこから、まだらおの湯に下りる道はいくらでも作れると。

それで今のところ、80キロ向こうまで信越トレイルが出来ているから、たぶんこっちの方へ延ばしてくれるから、もっといいコースになるかな、そんな事を思っております。

○委 員： ぜひ、斑尾を中心にしたい方法をお考えいただきたいと思ひます。

○市 長： いや斑尾中心じゃなくて、全体を。

○委 員： そう、トレイルをとりあえず各隣接市町村と対応しながら、その中の仲間に入っていただいて、よりこの地域がたくさん活性化するように、何となくと言うのですか、していっていただきたいと思ひます。我々ももちろん努力しまけれども、よろしくお願ひいたします。

○議長： えっといいですか。はい。他に。●●さん。

○委員： ●●●●の●●です。社会福祉協議会の事業でいろいろと意見が来ているので、お願いをしたいと思います。前の家族介護者交流会という事で毎年1回、11月頃実施しています。それで内容は、寝たきりあるいは寝たきりに近い人を介護している人を年に1回ご苦労さまでしたという事でいろいろ交流会を開いてとりもっている会なのです。

内容的には、非常に好評です。いい話しいっぱい入ってきます。良かった良かったと。ところがですね、寝たきりそれに近い人を預ける、もし2人しかいないと、誰も見てくれる人がいないと、預けていかなければいけないと。預ける所がないと行かれないと。金がかかるとか、そういう事でどうしてもって話しを何回も聞いています。ですから、内容非常に立派な内容なのですが、そういう人もいらっしゃるという事で、そのへんの配慮もしていただいたらいいかなあという事をお願いしたいと思います。以上です。

○福祉課長： 伝えておきます。

○委員： いいです。

○議長： それではなければ、本日子定した議題は全て終了しましたので、これで会議を終わりたいと思います。

よろしいですかね、大変長時間に亘りまして進行を務めさせていただいて、不慣れなために、いろいろご迷惑をおかけしました。いらいと場所がないにも関わらず、市長さんはじめ部長さん方、そして委員の皆さんには、貴重なご意見等お話しをいただきました。これをまた是非、当局の方に依頼しながら、我々も行政に協力しながらというように、会のかたち合う体制になれば我々そう思っております。

以上を持ちまして、議長を下ろさせていただきます。ありがとうございました。

5 閉 会 【豊田支所長】